

西大和つうしん

2016年12月号
No.414



談山神社より、音羽三山を望む
<2016年11月13日 公開山行にて>

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第414号(2016年12月号)

【目次】

12月度山行計画.....	2
12月度・1月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・教育山行 《10/16》 大峰の山 高原山～四寸岩山(林).....	5
・交流山行 《10/23》 北摂山系 るり溪～深山(村田).....	6
・自主山行 《10/29-30》 大峰の山 大峰奥駈 Part V(藤井).....	7
・自主山行 《11/5-6》 大峰の山 赤井谷・証誠無漏岳(藤本).....	9
・自主山行 《11/8-13》 屋久島の山 宮之浦岳～白谷雲水峡(橋本・今井).....	11
・公開山行 《11/13》 宇陀の山 音羽三山(船江).....	13
室内例会だより(10/26).....	14

12月度山行計画

～南伊勢の「槍ヶ岳」

ゆっくり登り晩秋の展望を楽しみたいと思います～

例会山行1 高見山地 《局ヶ岳 1,028.8m》

【日 程】2016年12月4日(日) (L橋本)

【集 合】上牧役場前駐車場 7:00 出発

【コース】局ヶ岳神社～旧登山道入口～小峠～局ヶ岳～小峠～新登山道口
～局ヶ岳神社

※歩行時間は約3時間30分

～雪山歩行技術の基本を学びましょう～

座学&例会山行3(教育山行): 第9回

【テーマ】「雪山歩行」〔座学担当:藤本/実技山行リーダー:杉川〕

【日 程】座 学:12月9日(金)19:30～ 於:事務所

実技山行:12月11日(日) 行先未定

【内 容】原則として、関西の雪山ハイキングを想定したアイゼン歩行の基本を学びます。ただし、受講者の雪山経験や目標により、内容を若干変更することがあります。

※実技山行の行先・内容は、参加者の雪山経験や希望に合わせて決定します。

※第9回～第11回の実技山行は、それぞれ前月の室内例会にて申込みのあったメンバーに合わせた内容で実施します(座学の内容もこれに準じます)。

なお、原則として、実技山行は座学への参加を前提としますが、座学のみ参加には特に制限はありません。

※

～鈴鹿南部の山を巡りましょう。

低山ですがアップダウンあり、少々手強い山です。～

みつごやま

しおそやま

例会山行2 鈴鹿の山 《三子山 568m～四方草山 650m》

【日 程】12月18日(日) (L藤井)

【集 合】上牧役場前駐車場 6:30 出発

【コース】鈴鹿峠～(1h30)～三子山～(1h)～四方草山～(30)～霧ヶ岳～(1h)～安楽峠～(1h)～山女原～(1h)～鈴鹿峠

※安楽峠から車で戻ることもできます

西大和山の会 カレンダー

12月			1月		
1	木	県連初級登山学校・座学	1	日	
2	金		2	月	
3	土		3	火	
4	日	例会山行1 局ヶ岳(橋本) 県連初級登山学校・実技	4	水	
5	月		5	木	県連初級登山学校・座学
6	火	県連・理事会	6	金	
7	水		7	土	
8	木		8	日	例会山行1 再度山(島崎)
9	金	座学《アイゼンワーク》(藤本)[19:30]	9	月	
10	土		10	火	県連・理事会
11	日	教育山行《アイゼン歩行》(杉川)	11	水	
12	月		12	木	
13	火		13	金	
14	水		14	土	
15	木		15	日	
16	金		16	月	
17	土		17	火	
18	日	例会山行2 四方草山(藤井) 西大和つうしん原稿締切	18	水	西大和つうしん原稿締切
19	月		19	木	座学《雪山装備》
20	火		20	金	
21	水		21	土	
22	木		22	日	教育山行《雪上歩行》(今井)
23	金		23	月	
24	土		24	火	
25	日	12月度室内例会／忘年会	25	水	1月度室内例会(19:30～)
26	月		26	木	
27	火		27	金	
28	水		28	土	
29	木		29	日	例会山行2 比良・釈迦岳(藤井)
30	金		30	月	
31	土		31	火	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	11/30 室内 例会	例会1	例会3 教育山行	例会2	12/25 忘年会		
			12/4 局ヶ岳	12/9 座学	12/11 山行			
1	(窪田)							
2	都築							
3	藤井		○					
4	(石田)							
5	多賀		○					
6	田中悦		◎					
7	島崎		◎					
8	田中初		○					
9	村田		○					
10	林		◎					
11	辻							
12	勝尾		○					
13	藤本			講師				
14	杉村		○					
15	高橋		○					
16	玉越							
17	杉川				LO			
18	阪口		○					
19	橋本		LO					
20	今井							
21	亀高		◎					
22	松浪		○					
23	亀井							
24	船江		○					
25	野路							
26	中		○					
27	杉森							
28	上田							
29	永井							
	合計		16					
	緊急 連絡先		藤本					

L:リーダー、○:参加、◎:車運転

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行3（教育山行：地図読み）

大峰山脈 高原山～四寸岩山

【日 程】10月16日（日）・晴れ

【参加者】CL 藤本・SL 橋本・SL 亀井・島崎・林・辻・野路・杉森・上田（9名）

【コース】川上村福源寺 650m(7:45)～高原山 1,087m(10:00)～1,177m 地点(11:35)
～四寸岩山 1,035m(12:10/13:00 昼食)～足摺の宿(13:30)～大峰林道合流地点 1,045m(14:05)

福源寺駐車場に車を止め、地形図を見ながら、Lの藤本さんから今日の目標、四寸岩山への登山ルートの確認と、山頂より1,205m 地点を東に降りて高原川と文田谷合流地点までの予定下山ルートか、山頂よりピストンで出発地点へ下山するかは時間経過を見て決めます、との説明がありました。登山口は、はっきりせず最初迷いましたが、踏み跡とテープ印、地形図の稜線と尾根筋を見比べながら、高度 850m 地点まで登り、地図と地形の確認が出来ました。



この辺りの尾根筋は手入れがされた太い杉の植林帯で登りにくい急勾配となって、その先の登りは緩く尾根筋を登る途中1,000m あたりで、初参加のUさんが運悪く木の根に躓き右手を打撲されました。冷却スプレーとテーピングの応急処置を行い、本人と体調の確認をして地図上の高原山まで登りましたが、大事を取り、SさんTさんには、予定変更で下山して貰い、登山道と大峰林道の合流地点に車を配車してもらう事になりました。

他のメンバーは、地図読みとUさんの様子を見ながら、目的地四寸岩山の山頂に向かいます。途中は、自然林と植林に分かれた尾根筋を伝い、1,125m、1,177mのピークを地図と見比べながら、四寸岩山山頂に到着。展望の開けた奥駈道沿いで昼食を摂りながら、リーダーより南方面の大峰の山々の山名の説明をうけました。

これからは、大峰奥駈道を下り、1,205mの小ピークを地形図で確認し、車との待ち合わせ場所の林道との合流地点に向かいました。途中の足摺の宿辺りの自然林を振り返ると、高い枝から紅葉も始まり、秋の気配を感じさせる稜線を伝う冷たい



風が吹き抜けて、修業の道を少しだけ踏んだ気になりました。

林道の合流地点から、Sさん、Tさんの車で、黒滝村経由で予定より早く帰宅出来ました。

講師の藤本さんには、教育山行ルート、資料地図と山行途中の講義と、時間と手間をかけて頂き、参加者全員大変勉強になりました。

（記：林 弘文）

例会山行2（奈良県連 40周年記念交流山行）

北摂山系 るり溪～深山 791m

【日 程】10月23日(日)（曇一時小雨）

【参加者】西大和山の会 10名：藤井・田中悦・島崎・田中初・村田・藤本・橋本・今井・亀高・中／他会より45名（総計55名）

【コース】るり溪バス停(9:40)～るり溪入口(10:17)～通天湖(11:05)～深山登山口(11:48)～深山高原(12:27)～深山山頂(12:48/13:20)～登山口(14:18)～るり溪温泉(14:40)

47名（他は乗用車2台で）を乗せたバスは郡山市を出発し、京都南丹市へ。県連の40周年の記念行事でもあることから、大勢の参加があり、御世話をされた奈良ハイキングクラブの方々、ご苦労様でした。車中では県連理事長の挨拶。県連の歴史の一端や来年度（2017.6.17）予定されている記念公演の紹介もされていた。



るり溪のバス停からは5班に分かれて出発、L・SLは10人いずれも男性会員だった。しばらくは舗装された府道を進むが、るり溪入口の案内からは、4kmにわたる、自然林と清流の織りなす美しい溪谷が待っていた。新緑、紅葉の時期はさぞ美しい景観がみられることだろう。左岸に歩きやすく幅の広い遊歩道が設置されている。陽の当たり方によっては水面が”るり色”を呈するらしいが、今回は水量が少なく、残念。るり色をした美しい、カワセミもやってくるらしい。次々あらわれる景勝スポットはいずれも漢字名でいかめしい、例えば水晶簾、双龍淵、座禅石・・・などなど。溪流の終点は通天湖、えん堤から水のカーテンが見事な滝を作っていた、この水はいずれ下流で桂川に合流するそうだ。



るり溪温泉をやりすごし舗装道路を横切ると登山口の案内の看板。右手にゴルフ場を見て進む。雑木林の中、粘土質むき出しの道はけっこう急登で、すべるわすべるわ、ロープのお世話になる。明るくひらけた尾根道に出るとススキの群落、根元にかわいいセンブリがこれも群落を。どなたかされたか、小さい株を小石で囲み可憐な花を保護していた。ほどなく着いた山頂には、深山神社の鳥居、雨量観測所があり、ゆったりと昼食タイム。他の会との交流はとくにはなかった。

背丈を超すススキの原をこえ来た道を下った。希望者はるり溪温泉で温まった。が、長い列を待てない温泉あきらめ組も三々五々自由なおいしい？時間を楽しんだ。

（記：村田澄子）

自主山行

大峰奥駈 Part V 行仙岳 1,227.3m～笠捨山 1,352.7m

～槍ヶ岳～地藏岳 1,250m～東屋岳～香精山

【日 程】10月29日(土)～30日(日)

【参加者】L 杉川・SL 亀高・藤井・今井・野路・中 (6名)

10月29日(土) 晴れ

【コース】行仙荷揚登山口(10:37)～水場(10:52/57)～浦向道出合(11:15/24)～佐田辻(行仙小屋)(11:44/12:49)～行仙岳(13:21/36)～行仙小屋(13:59)

大峰縦走も一昨年の3月に吉野をスタートして数えて5回目になる。今回は都合がつかない方が多く車2台6名の参加となった。紀伊半島を南下していているので登山口に到着するまでに時間がかかる。

下山口の21世紀の森公園に車をデポした後、行仙荷揚登山口の階段を登る。すぐに水場があった。リュックが重く急登が続くが今日の行程は短いので心は軽い。何より色づき始めた木々と澄み切った青空が背中を押してくれる。ゆっくり歩いても1時間で行仙小屋に到着。この小屋は新宮山彦グループが管理されている設備の整った快適な宿だった。昼食後空身で行仙岳に向かう。30分でこの春に登った大木とパラポラアンテナの立つ行仙岳に着いた。これで前鬼からの道が繋がったことになる。



宿に戻るとさっそく薪ストーブに火を入れ暖まり、鍋を囲み、まったりと優雅な時間を過ごす。暗くなるころに山彦グループの方と同宿の男性一人が来られる。予

約されていた10人ほどは来られないということでゆっくり過ごすことができた。山彦の方から熊出没情報を聞いて(笠捨山付近で何回か目撃されているようだ)、不安がよぎるが女性4人の姦しさに熊も退散することだろう。日本一の避難小屋を目指しているとかで、まさに今までの最高の避難小屋だと思った。

夜には風もやんで外に出ると満天の星!! 寒さも忘れて見入っていた。



10月30日(日) 晴れ

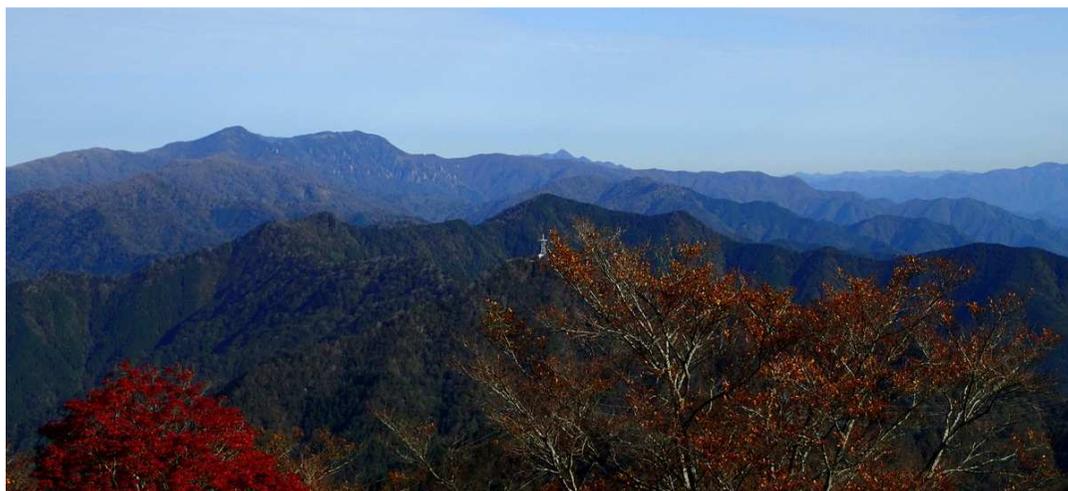
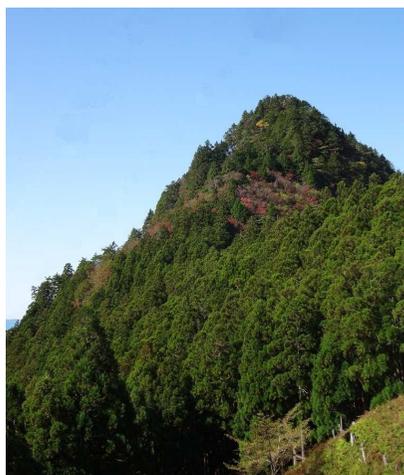
【コースタイム】 行仙小屋(6:45)～笠捨山東峰(8:47/51)～西峰(8:54/9:14)～葛川辻(9:46)
～槍ヶ岳(10:04)～地藏岳(10:30/39)～東屋岳(11:33/58)～香精山(12:42)
～貝吹金剛(13:15/25)～古屋宿跡(14:11)～21世紀の森(14:41)

今日も快晴。落葉を敷き詰めた広い明るい尾根道を笠捨山に向かう。左右が開けていて開放感があり実に気持ちがいい。幾重にも重なった山並み、その向こうに熊野灘がキラキラ輝いていた。これぞ大峰奥駈、思わず「大峰はいいなあ」の声が上がる。今年の紅葉は遅れているようだがところどころ色づいた赤や黄色が美しかった。

笠捨山は反射板のある東峰と西峰とになり山頂から堂々とした釈迦ヶ岳や遠くに大普賢三兄弟も望まれた。さらに進むと、きれいな三角錐の槍ヶ岳が見えてきた。一変して険しい岩稜の道が

続き、岩をよじ登るとお地藏様の鎮座する山頂に着いた。少し行くと切れ落ちた岩壁に行き当たり地藏岳を通り過ぎてしまったことに気付く。この下降が最大の難所、人用と荷物用の2本の鎖が付いていて慎重に下る。鎖場をクリアするとまた気持ちのいい尾根道になる。

東屋岳、香精山とアップダウンを繰り返し、後はどんどん高度を下げていく、古屋宿跡からは縦走路から別れ、21世紀の森に下っていく。この続きは次回のお楽しみに。これ以上はないという天候に恵まれ、さわやかな秋の奥駈を堪能できた二日間だった。



(記：藤井 益子)

自主山行

大峰山脈 赤井谷～深仙宿/ 池郷林道～持経ノ宿～証誠無漏岳

【日 程】 11月5日(土)～6日(日)

【参加者】 L 藤本・杉川 / K.Sh. (奈良労山) (計3名)

11月5日(土) 快晴

【コース】 釈迦ヶ岳太尾登山口(8:22)～P.1,434(8:48/52)～コル[下降開始点] (9:05/11)～赤井谷右岸(10:06)～木橋[左岸へ] (10:19)～枝沢渡渉地点(11:23/46)～深仙宿(13:11/17)～千丈平(13:51/55)～古田ノ森(14:24/31)～P1,434(15:07/09)～太尾登山口(15:25)＝旭口＝[R168]＝道の駅十津川郷＝[R425]＝池原＝[白谷池郷林道]＝車止めゲート(19:23)～持経ノ宿山小屋(20:45) [泊] (＝で示した区間は車移動)



十津川の源流である滝川沿いに深仙宿へと突き上げる赤井谷は、旭口方面から釈迦ヶ岳へ到る太尾登山道のすぐ南に位置しているものの、ほんみち教団の私有地ということもあって、紅葉の季節でも喧騒を免れた秘境の佇まいを保っている。大峰奥駈主稜線と太尾尾根の間を緩やかに縫う滝川上流は、ごく初級の沢登りコースでもあるが、入渓せずとも川岸の道を辿れば原生林の溪谷を充分楽しむことができる。

太尾登山道から赤井谷の間には道がないため、今回はその道筋を探るべく初めてこの領域に足を踏み入れた。なお、今回の山行にあたっては、事前にほんみち教団本部へ入山申請を行い、許可をいただいた。

赤井谷方向が「危険」と記された標識のあるP.1,434より太尾登山道を離れ、南への尾根をしばらく進み、最初の小ピーク手前のコルから東へ谷筋を下る。もちろん尾根を下るのが定石ではあるが、今回は敢えて経験のために谷を選んだ。淵や滝や崖さえなければ、沢は下るにつれて一つの流れに収束していくので、ルート維持がきわめて容易なのである。実際、下り始めこそ急なところもあったが、我々は一度も迷うことなく、苔むした岩の重なる涸れ沢を辿り、緑なす深い森に淡い赤や黄をちりばめたトンネルの下を赤井谷までゆるやかに導かれたのである。

赤井谷に下りてからは、おそらくほんみち教団の仕事であろう、ところどころ大木につけられたペンキの印をつないで踏み跡が続いている。ルートファインディングの楽しみはなくなってしまったが、代わりに鮮やかな紅葉と沢をうめる岩の白さが紺碧の空に映えて、存分に目を楽しませてくれる・・・が、予定ではそろそろ引返さねば・・・との思いが頭をよぎる。しかしこの心地よい沢筋を去り難く、どう

せならこのまま深仙まで行ってしまおうか・・・ふとそう思って口にだせば、3人とも思いは同じ、深仙からは一般登山道、走ってでも下りられる！・・・と、あっさり計画は変更となった。

途中地図に水線の記されていない枝沢の渡渉でトラップにかかりかけはしたが無事クリア。急登に汗して奥駈の稜線に達すれば、紅葉はとうに終わっているものの、冬枯れと青空の絶景が広がる深仙、千丈平。釈迦ヶ岳と大日の雄姿を何度も見返りつつ、通り慣れた太尾登山道を足早に下って車に戻った。

秋の落日に映える「紅葉街道」もそこそこに、旭口から国道168をずっと南下して十津川に至り、そこからさらに酷道425号線。ベテランドライバーの運転でもさすがに日暮れの方が早かった。ウサギとタヌキの飛び出しに急停止を重ね、最後の極めつけは池原からの白谷池郷林道。落石を一つ一つ取り除きながら進むその先には、シカにタヌキに乙事主と原始の森の主が勢ぞろい。ゲートから85分の林道歩きは、さすがに手にしたクマ除け鈴を鳴らし続けたおかげか、立派な尻尾の日本リス一匹に会っただけで、めでたく——ただし消灯時刻過ぎの一持経ノ宿着となった。



◆11月6日(日) 曇り時々晴れ

【コースタイム】持経ノ宿山小屋(9:17)～阿須迦利岳(9:47/51)～証誠無漏岳(10:34/37)～奥八人山への稜線(11:08/45 昼食)～証誠無漏岳(11:57)～阿須迦利岳(12:26)～持経ノ宿山小屋(12:44/13:13)～白谷池郷林道車止めゲート(14:16)



前日に予定を大幅に超過して行動したこともあり、居心地のよい持経ノ宿山小屋で昼過ぎまでまったりしたあと、そのまま下山、という気持ちもあったが・・・一応は当初の主目的だった八人山のその入口くらいまでは行こうか、と重い腰をあげたのが9時過ぎ。半年前に辿った阿須迦利岳、証誠無漏岳の急登と急下降にあえぎつつ、奥八人山への稜線に足を踏み入れるころから、北西の空に黒雲が立ち上がりどうも怪しい気配。しばらく南奥駈の稜線に行仙、笠捨、地蔵のシルエットを眺めながら昼食をとったのち、早々に小屋へと引返しにかかる。もっとも、阿須迦利岳へ登り返すころにはもう天候は回復してふたたび陽光が名残りの紅葉を照らしていた。

荷物をまとめて小屋を辞し、昨日は闇の中歩いた林道を、景色を楽しみながら車まで。最後は関西最難の沢として名高い池郷川に屹立する「岩や塔」の奇観を車窓越しに眺めつつ帰路に就いた。

(記：藤本武司)

自主山行

屋久島 宮之浦岳 1,936m～白谷雲水峡

【日 程】11月8日(火)～11月13日(日)

【参加者】L 島崎・SL 今井・橋本・中 (4名)

11月10日(木) (雨) 淀川登山口～新高塚小屋

【コースタイム】淀川登山口(5:40)～淀川小屋(6:40/7:10)～小花之江河(8:30)～花之江河～栗生岳(11:15/30)～宮之浦岳(11:45)～新高塚小屋(14:40)

今日の天気は崩れる予報。雨の降り出しが少しでも遅くなる事を願っていたが、雨に打たれながらの出発となる。夜明け前の真っ暗な登山道を慎重に歩き、淀川小屋に着く。朝食を摂り、澄んだ水が流れる淀川を渡り進む。最初は樹林帯の中なので、さほど雨も気にならなかったが、次第に本降りになり樹林帯も抜け、行き会う人もなく静かな山中をひたすら歩く。

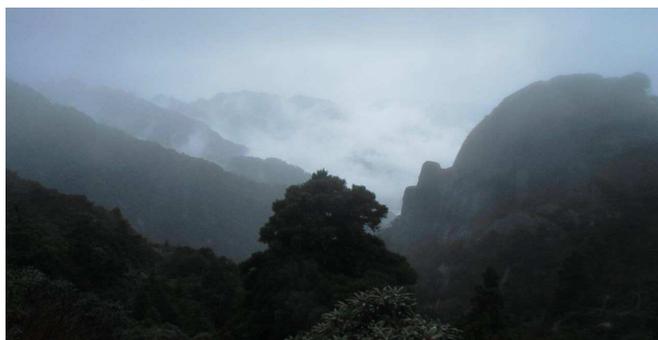


花之江河を過ぎてからは、ロープが設置された岩場もあり、段差も大きく、思っていた以上になかなか手ごわい登山道が続く。道標はしっかり立っており、道迷いすることもなく歩き宮之浦岳に着いたが、景色を楽しむことも出来ず、なにせ小屋に早く着きたかったこともあり通過しただけとなった。

屋久島は正長石が混ざった花崗岩から出来ている為、滑りにくいとTVの番組で

放映されていたが、本当に濡れた岩でもあまり滑らず歩く事が出来た。

約9時間の雨の中の歩行、びしょ濡れになりながら黙々と懸命に歩き小屋に辿り着く。期待した縦走路の景色は見られず残念だったが、雨の山行での装備を見直すいい経験となった。



★山行中の水場について

屋久島は水が豊富なのでどこでも水を調達できるとの情報を得ていた。登山マップにも水場の位置が明記されていた。ただ新高塚小屋の水は煮沸しないと使用できないとのことだったので、少しでもきれいな水を確保しようと宮之浦岳を下り始める付近の水を調達する予定だった。でも水場と明記しているところはなく岩陰に溜まっている水をかろうじて汲むことが出来た。雨で急ぎ早に歩いていたらせいもありません。見つけることが出来なかったのか、水場と指定しなくても山中に流れている水は飲み水として使用できるのか……。結局解らず、汲んだ水はすべて煮沸し使用した。

(記：橋本紀子)

11月11日(金) (晴れ) 新高塚小屋～白谷雲水峡

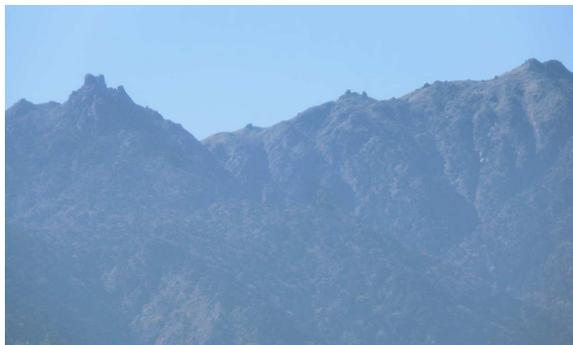
【コースタイム】新高塚小屋(6:20)～高塚小屋(7:25/37)～縄文杉(7:45)～ウイルソン株(9:15/30)～大株歩道入口(10:00)～楠川分れ(11:20)～辻峠(12:15/30)～太鼓岩往復(12:30/13:00)～白谷雲水峡(15:15)

暗がりの歩行を避け1時間余り遅らせて、空がしらみ始める頃、ヘッドランプを付けて新高塚小屋を出発。歩きだして10分程で夜が明ける。朝靄が消え、ヒメシャラや黄葉した樹々が朝日に輝いて見えた。天気は期待出来そうだ。

高塚小屋でトイレ休憩を取っていると、昨日、淀川小屋で見かけ、新高塚小屋でも一緒になった若いカップルが到着。トイレは1つしかなくて時間がかかる。混んでいる季節は大変だと思う。縄文杉、夫婦杉、大王杉と進んで行くと登って来る人に出会うようになる。ウイルソン株に着くとガイドさんに率いられた幾つものパーティで賑わっていた。外人さんも多く見かける。その人達と一緒にウイルソン株の中からハート形の空を探す。ガイドさんの説明を聞き、見上げるとハート形の空がみえた。晴れて良かった。ガイドさんによると日帰りの方々のゴールデンタイムとの事。木道や木の根の多い場所での行き違いは譲りあいながら進み、時間がかかる。大株歩道入口からは森林軌道になり、楠川分れまでは会う人も無く、自分達のペースで歩けた。小杉谷山荘跡のバイオトイレはペーパーや水場も有り快適だった。



辻の岩屋から辻峠では多くの人々が休憩されていて、太鼓の岩へ向かう人達も多い。リーダーSさんが太鼓岩は止めておこうか？と話される。取り敢えず昼食休憩にする。昼食を摂っていると一昨日、安房行きバスの車内で出会い、宿の近くまで



一緒にTガイドさんが太鼓岩から戻って来られるのに出会う。「太鼓岩からの眺めが今日は最高だ」との情報。ザックをデポして登る事になる。少々風の強い太鼓岩から西の方に、岩の形が特徴の有る翁岳、ラクダこぶの様な山頂の宮之浦岳、山頂が岩でゴツゴツした感じに見える永田岳等の勇姿が見え、眼下に紅葉した樹林が広がっていた。Tガイドさんにいいところで会えて良かった。

苔の森では苔と屋久杉の風景を眺めて、「もののけ姫」の雰囲気を楽しみ、のんびり過ごされている人達でいっぱいだった。予定通りに下山するのが惜しくなり、白谷雲水峡までゆっくり時間かけて下山する事を提案し、受け入れて頂く。お蔭で苔の歩道をのんびり歩いて、くぐり杉を通り抜けたり、飛水龍の美しい滝を眺めたり、大岩ではコーヒブレイクまで出来て、白谷雲水峡を心行くまで堪能出来た山行だった。リーダーのSさん始め同行して頂いたお二人に感謝します。

(記：今井雅代)

例会山行1（公開山行）

宇陀の山 音羽三山（音羽山・経ヶ塚山・熊ヶ岳）

【日 程】 11月13日（日） 晴れ

【参加者】 CL 亀高・A-L 多賀・A-SL 藤井・B-L 田中悦・B-SL 杉村・C-L 藤本・
C-SL 勝尾・田中初・辻・高橋・杉川・松浪・船江・野路（会員14名）
／一般17名（合計31名）

【コースタイム】 下居バス停(8:45)～音羽観音(9:40/48)～展望所(10:10)～音羽山(10:35)
～経ヶ塚山(11:05/50 昼食)～熊ヶ岳(12:25)～大峠(12:55)～不動滝
(13:40)～〈希望者のみ〉～談山神社(14:15)

恒例の秋の公開山行。新聞掲載効果もあり、一般参加が会員を上回る総勢31名！ 集合場所の桜井駅で少しドタバタしたが、無事バスに乗車。3班への人数割り、降車後の点呼、会費徴収、自己紹介の後、下居バス停からの出発。

音羽観音までの参道はいきなり急登だった。80代の方1名がこの時点でリタイアし会員2名が付き添い、下山された。50分ほどで観音寺（善法寺）に到着。可愛い尼僧人形と猫が迎えてくれた。音羽山へは展望所経由の登山道に行く。方向表示もあり道は直登だが整備されており眺望を楽しみながら登る。展望所からは金剛、葛城、二上山、手前に畝傍山、談山神社の紅葉まで望めた。



音羽山頂は植林に囲まれ展望は望めず、次のピーク経ヶ塚山へ。一般参加の若いメンバーの明るく楽しい会話は、急登のしんどさを和ませてくれる。経ヶ塚山頂は自然林に囲まれ少し広さもある。大所帯で和気藹々と賑やかな昼食後、また尾根筋

を下る。途中、正面に熊ヶ岳が現れた。一度下ってあれをまた登るのか・・・頑張らねば！ 背丈ほどある熊笹を掻き分け、足元の倒木に「注意い～」と声をかけながら熊ヶ岳山頂に到着。なんと狭い山頂！ 笹藪に苦労しながら大峠へ向かう。大峠からは暗い杉林を下り、舗装された長い林道を下るがこれが滑りやすくて怖かった。不動の滝が見えてホッとする。

ここで解散だったが紅葉の美しい談山神社へ一般の方14名も同行下さり、楽しく有意義な秋の日であった。

（記：船江照代）



室内例会だより

【日 時】2016年10月26日(水) 19:30~20:45 事務所

【出席者】藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、藤本、杉村
高橋、杉川、阪口、橋本、亀高、野路、中、杉森、永井

1. 山行計画

- 11月13日(日) 公開山行 例会山行1《音羽三山》……………L 亀高
- 11月18日(金) 座学「ルートファインディング」於:事務所 19:30~…講師:藤本
- 11月20日(日) 例会山行3(教育山行) 実技山行 行先は座学にて決定……L 藤本
- 11月27日(日) 例会山行2 鈴鹿の山《雨乞山 1,238m》……………L 辻
- 12月 4日(日) 例会山行1 高見山地《局ヶ岳 1,028.8m》……………L 橋本

2. 山行報告

- 9月24~25日 例会山行2(テント泊山行) 北八ヶ岳
《蓼科山/高見石~ニュー~白駒池》L 辻……………13名
- 9月30日 自主山行 鈴鹿の山《御池岳》L 島崎……………4名
- 10月2日 例会山行1 矢田丘陵《松尾山・矢田山》L 多賀……………12名
- 10月7~10日 自主山行 頸城山塊・北アルプス《雨飾山・白馬乗鞍》L 藤井……6名
- 10月15~16 近畿ブロック女性担当者交流集会 金剛山地
《大和葛城山 959.2m》……………1名(今井) 奈良9名・他府県16名/計25名

3. 連絡その他

★県連関係

- ・県連40周年記念交流山行 「るり溪~深山」 (担当:奈良ハイキングクラブ)
10月23日(日)開催された。【参加者】55名(本会参加10名)

★本会より

- ・新入会員紹介……永井章夫さん入会されました。
- ・11月13日(日) 公開山行
雨天による中止(前日予報で降水確率50%以上)の場合、参加者に連絡するとともにHPに掲題します。
- ・「労山新特別基金」の説明冊子が配布されました。各自内容確認してください。
- ・教育部より……11月20日(日) 実技山行参加する方は、できるだけ座学も参加してください。
- ・本年90歳になられる窪田さんのお祝を12月25日(日)の忘年会で行いたいのをご出席頂けるようお誘いします。
- ・10月16日(日)教育山行(地図読み)で上田さんが転倒し、右手首を骨折。現在治療されています。

(記:橋本紀子)

西大和つうしん

第 414 号 (2016 年 12 月号)

2016 年 11 月 30 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>